



P3 特集 令和7年度 山添村の予算

— 目次 —

P 6 村のできごと

P 7 議会だより

P16 今月の情報

P20 イベントカレンダー

三十八間重
九十六星
本馬瑠璃王
本漆瑠璃王
和風
ほか

令和7年度に向けて



山添村長
野村 栄作

令和7年度の一般会計、特別会計の予算額は合わせて50億2千7百71万円で、前年度対比5.7%の増となりました。

主な事業としまして、災害時の情報伝達手段として、平成12年より防災行政無線を整備してきましたが、この度設備の老朽化及び通信方式の変更に対応するため、防災無線の更新工事を計上しています。加えて、防災訓練や防災備蓄品の購入費など防災関連事業の予算も計上しています。

次に庁内の給与・財務システムなどの内部情報システムについて、契約期間満了に伴う、システム更新委託料を計上しています。

次に住民基本台帳などの基幹系情報システムについて、近年、国のデジタル庁において、政府共通のガバメントクラウドの取組を本格化し、市町村など各地方公共団体と共同化

することによるコスト削減や業務効率化を進めています。当村においてもガバメントクラウドへ移行するため、予算計上しました。

次に本年度において、7月に参議院選挙、8月31日に村長及び村議会議員の選挙が予定されており、その経費について予算計上しています。

その他教育委員会では、義務教育学校の推進、住民福祉課では、診療所を含めた保健福祉事業全般の予算、農林建設課では、オーガニック普及を含めた農林土木に関する予算、地域振興課では、空き家対策・移住定住・神野山一帯の施設管理予算、総合政策課では、外部人材登用や他団体との連携を含めた持続可能な共生社会の実現のための予算をたてました。いずれにしても、村民の皆さま、議員の皆さまとしっかり手を携え、「元気で夢や生き甲斐が持て、安心して暮らせる村づくり」に邁進するための予算です。ご理解とご協力をお願いいたします。

続いて、懸案となっております分校のことについてです。

まず、県指摘の設置者と管理者が異なる事態を解消するため山添分校として令和8年度以降の入学者の募集は行わないと判断しました。そのため、山添分校は、令和7年度の入

学生が卒業する令和11年3月で閉校させていただきます。70年以上の歴史を持ち、多くの卒業生を輩出し、山添村に貢献してくれた分校を閉校することは断腸の極みですが、「設置者が管理する」という制度を覆しての存続はできません。

また、分校の村立本校化については、現状ではできないと判断しました。大きな理由としては、本校化により、今後、管理運営上、村の財政を圧迫し村民の生活が守れなくなる可能性が非常に高いこと、また、今までの分校の取組を振り返って、未永く存続できる新しい高校を作っていくという確信が持てなかったことです。もちろん、高校があることのメリットは多くあるでしょう。そして、現在置かれている分校の役割も認識しているつもりです。また、高校の持つ可能性が十分に発揮されれば、村の活性化に繋がるかもしれないという思いも十分にあります。

しかし、私たちは、10年20年先のことを考えて行政を行っています。人口が減少し、財政も縮小する中で、本校を設置し維持していくことは困難と考えます。また、村には、今後も簡易水道の整備工事やインフラ整備の財源等を確保しておく必要があります。そうした中、直接村の

子どもたちが学んでいることも園や、小中学校の教育上の効果を更にも高めていくような施策を進めていくことが、村の将来に繋がると判断しました。

ただ、分校の在り方検討委員会からの答申や先日いただいた多くのご署名の思いを無にしないため、今後は、新しい学校法人や、その他学びの機関が作れないかを皆様とともに模索していきたいと考えています。どうかご理解をお願いいたします。



3/21 オーガニックビレッジ宣言

令和7年度 山添村の予算

3月に開会された村議会定例会で、令和7年度の予算が可決されました。

「やまぞえ未来創生計画」に基づいて事業を実施していきます。

限られた財源をどのように活かしていくのか、その概要をお知らせします。

☎ 総合政策課

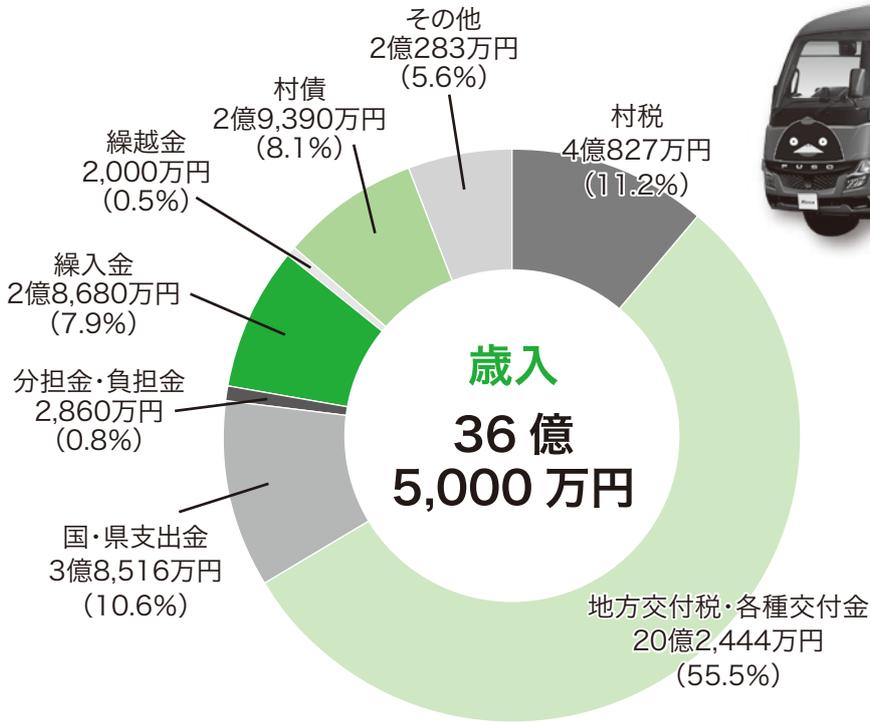
会 計		令和7年度	令和6年度	前年度比	
一般会計		36億5,000万円	33億8,500万円	2億6,500万円	7.8%
特別会計		13億7,771万円	13億7,252万円	519万円	0.4%
特別会計 の内訳	国民健康保険	6億2,217万円	6億3,277万円	△1,060万円	△1.7%
	後期高齢者医療	9,003万円	7,980万円	1,023万円	12.8%
	介護保険	6億2,198万円	6億1,642万円	556万円	0.9%
	基幹水利施設管理	4,353万円	4,353万円	0万円	0%
各会計予算総額		50億2,771万円	47億5,752万円	2億7,019万円	5.7%

公営企業会計

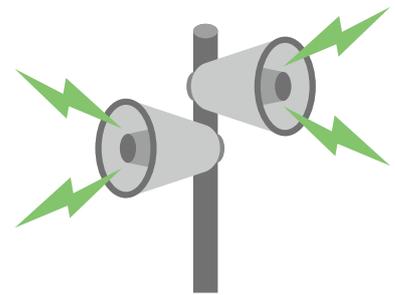
簡易水道事業	
水道事業収益	2億514万円
水道事業費用	2億7,867万円
資本的収入	6億3,647万円
資本的支出	6億3,647万円

下水道事業	
下水道事業収益	3,795万円
下水道事業費用	4,000万円
資本的収入	808万円
資本的支出	808万円

一般会計歳入

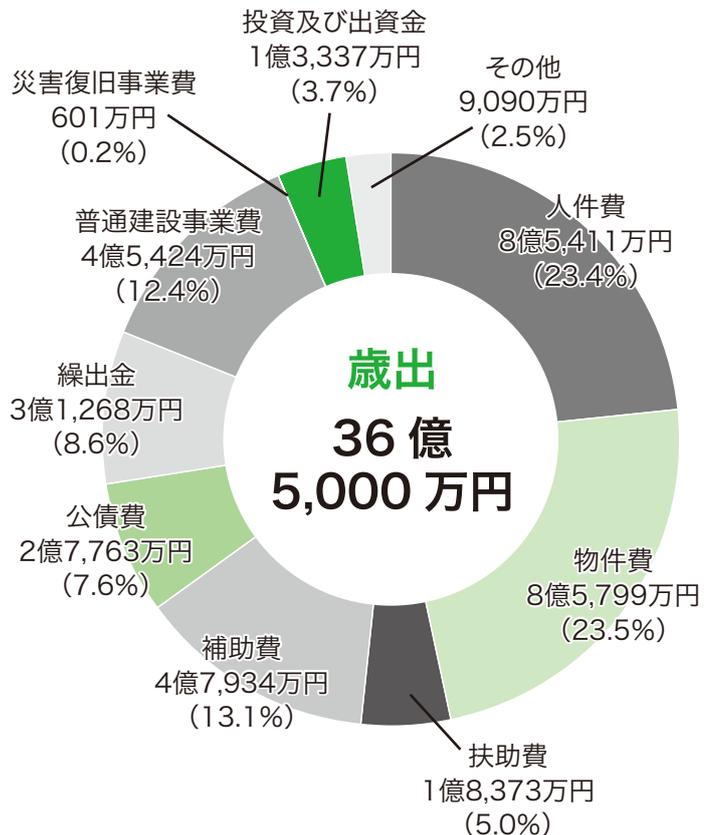


奈良方面村民送迎バス



一般会計歳出（性質別）

人件費	職員給与、議員報酬など
物件費	需用費、役務費、委託料などの消費的性質の経費
扶助費	障がい者、児童などの医療費援助や各種手当、生活扶助費など
補助費	負担金、補助金など、行政上の目的で村から支出する経費
公債費	村が借入れた地方債の元金・利子など
繰出金	一般会計と特別会計、または特別会計間で支出する経費
普通建設事業費	公共施設などの建設事業(新增設)に必要なとする投資的経費
災害復旧事業費	大雨、防風、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費



令和7年度の予算はこのような事業に使われます

一般会計歳出 36億 5,000万円（目的別の主な事業）

総務費

防災行政無線更新事業 2億8,241万円

村や地域の情報発信として使用している防災行政無線及び各家に設置させていただいている戸別受信機について、老朽化の進行及び受信状況を改善するため、更新を行います。

また防災行政無線での発信内容を情報配信アプリ「めえめえ」と連動することで、利便性の向上を図ります。

神野山施設管理運営事業 1,547万円

神野山周辺施設は、今年度より新たな指定管理者がめえめえ牧場と神野山バーベキュー場周辺の管理を行うことになりました。映山紅周辺施設については今年度に再公募を行う予定で新たな指定管理者が決定するまでの間、村が管理を行います。

山添村と地域住民が連携しながら旅の目的地として選ばれる魅力ある神野山を実現すること、その賑わいが村内各所に波及することで村全体の活性化を図っていきます。

DX及び行財政改革推進事業 2億973万円

給与・財務システムなどの内部情報系システムの更新委託料及び住民基本台帳などの基幹系情報システムを政府共通のガバメントクラウドと共同化することでコスト削減や業務効率化を進めていきます。

公共交通事業 4,217万円

昨年度に引き続き、コミュニティバス運行等を実施し、村民の利便性を図りながら将来の公共交通対策のあるべき姿を模索していきます。

農林商工費

有機農業推進事業 800万円

昨年度に引き続き、オーガニック農業を広げる取組を実施します。

オーガニックスクールの開催に加え、学校給食での活用や花香房直売所でのマルシェの開催など、オーガニックの野菜を身近に感じいただける取組を行います。

教育費

義務教育学校推進事業 1,089万円

小学校・中学校を1つの学校とした義務教育学校の開校（令和9年4月予定）に向け準備を進めていきます。

現在の山添中学校を改修し、義務教育学校とするため、工事期間中は中学校校舎が使用できなくなります。その間、やまぞえ小学校にて授業等を実施するため、小学校への改修に必要な予算等を計上しています。

建設工事に関する費用については、今後予算要求予定です。

予算の概要について、
ホームページに公開していますので、
こちらのQRコードからご覧ください。



4/5 ブックカフェひろせで
花まつりが開催されました



3/6 こども園において
絵本贈呈式が行われました



山添中学校1年生が、こども園の園児向けに「山添村紹介絵本」を制作し、贈呈式が行われました。

この絵本は、山添村の絶景や施設、てんまるなどが登場し、山添村の魅力が伝わる内容となっています。そして、自分たちのふるさとを愛し、自信と誇りを持ち、次世代を担う人になって欲しいという願いが込められています。

中学生の読み聞かせに園児達も大喜びでした。

山添村がめざす観光について

山添村長 野村栄作

山添村がめざす観光は、単なる観光地の消費ではなく、地域の魅力を最大限に活かし、持続可能な形で地域経済を支える観光業の実現です。この取組の中心となって進めているのが、「山添村観光協会」です。

本村は豊かな自然環境が広がっており、四季折々の風景が訪れる人々に癒しと感動を与えます。特に山や川、森林が村の主要な資源となり、その自然景観を活かしたハイキングやキャンプ、溪流釣りなどを提供することで、訪れる人々に深い印象を与え、自然と人々とのつながりを強めていきます。

また、村内には地元の特産品や伝統文化、文化財が数多く存在し、これらを観光に取り入れることにより、地域経済の活性化を図っていきます。観光客に地元の農産物や加工品を提供し、地域の歴史や文化を学んでいただくことで、観光客は単なる観光地巡りだけでなく、地域の特色を深く知り、理解することができます。たとえば、地元の農家と一緒に収穫

体験をしたり、伝統的な祭りに参加したりすることなどができれば、印象深い体験となります。

観光業を地域に根付かせるためにも地域産業を活性化させ持続可能なものにしていかなければなりません。地元住民が観光客との交流を深め、観光による地域の雇用を増やし、住民の生活向上につなげていきます。

これからも、観光を押し進めるにあたり、自然環境、地域資源、持続可能性、そして地域住民との共生を基盤とした、地域全体が一体となる観光を目指していきます。

以上の村の方針の下、山添村観光協会では、

一つ目として「星空・イワクラ・羊・和紅茶」を看板商品として掲げガストロノミー・サスペンツァー、民泊推進事業等、旅行の商品化を進めています。

二つ目として、観光人材の育成と集約を進めています。

三つ目として、HPやSNSによる情報発信を行っています。

体験ツアーなどでは、地元に出かけ、散策したり、交流したりする機会を作っています。

どうか、村民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

山添村議会定例会の結果

第1回定例会を、3月4日から3月18日まで15日間の会期で開きました。
条例規約の一部改正、令和6年度補正予算、令和7年度当初予算、指定管理者の指定、
人事案件、議員発議の決議1件が提出され、採決の結果、全件承認・可決・同意され
ました。

その概要を要約してお知らせします。

図 議会事務局（総務課内）

提出議案とその審議内容

一 条例

▼刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について（全会一致で可決）

刑法の一部が改正されたことにより上位法との整合を保つため、関係条例の改正を行いました。

▼行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について（全会一致で可決）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されたことにより上位法との整合を保つため、関係条例の改正を行いました。

▼山添村監査委員に関する条例及び山添村公営企業の設置等に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

地方自治法の一部が改正されたことにより上位法との整合を保つため、関係条例の改正を行いました。

▼一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

山添村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）
人事院勧告に基づく国家公務員の給与と改定が行われ、令和7年4月1日施行の改正部分について、国に準

拠して本村職員の給与等の改定を行いました。また、一般職の改正にあわせ、会計年度任用職員の給与等についても改正を行いました。

▼職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部が改正されたことにより上位法との整合を保つため、本村においても改正を行いました。

▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

選挙事務に係る報酬について、投票所の集約により投票管理者、立会人の責任負担の増加、また、投票事務の事務量も増えているため、投票所従事者の報酬について改定を行いました。

▼山添村手数料徴収条例の一部改正について（全会一致で可決）

コンビニエンスストアや村内3か所の郵便局に設置している多機能端末（キオスク端末）で発行する「住民票」及び「印鑑登録証明書」の発行手数料を現在の300円から200円に引き下げ、また、地籍調査事業の完了に伴い筆界点座標値等の手数料を減額するとともに、利用のないものについて廃止する改正を行いました。

▼山添村土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

本年5月7日から奈良県による宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく規制が開始されるに伴い、定以上の盛土等を行う場合には県への許可や届出が必要となることから、それに伴い、村での協議及び許可が必要でなくなるため改正を行いました。

▼山添村消防団員等公務災害補償条例の一部改正について（全会一致で可決）

国家公務員の一般職の職員の給与に関する法律の一部が改正されたことにより上位法との整合を保つため、本村においても改正を行いました。

▼山添村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について（全会一致で可決）

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部が改正されたことにより上位法との整合を保つため、本村においても改正を行いました。

▼山添村国民健康保険条例の一部改正について（賛成多数で可決）

地方税法等の一部が改正されたことにより上位法との整合を保つため、本村においても改正を行いました。
〈反対討論〉 奥谷和夫 議員
国民健康保険はもともと自営業者や農家などを主な対象としていたが、今では非正規労働者やフリーラ

ンス、75歳未満の年金生活者などが加入者の多くを占めるようになってくる。そのため一般のサラリーマンに比べて低所得層が多いにもかかわらず、保険料の負担率は逆に重くなっている。そのような状況の中、国保税の最高限度額を引き上げようとするものであり本案に反対する。

〈賛成討論〉 大谷敏治 議員

地方税法等の一部改正によるものであり、山添村国民健康保険運営協議会での審議を経て本定例会に上程されていることから妥当であると考え賛成する。

【 補正予算 】

▼令和6年度山添村一般会計補正予算(第8号)について(賛成多数で可決)

▼令和6年度山添村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について(全会一致で可決)

▼令和6年度山添村介護保険特別会計補正予算(第3号)について(全会一致で可決)

▼令和6年度山添村下水道事業会計補正予算(第2号)について(全会一致で可決)

※前記補正予算4議案については、一括して審議。14頁参照。

〈反対討論〉 野村信介 議員

一般会計補正予算に屋内運動場空

調施設設計委託料770万円が計上されている。奈良市は小学校と中学校が全部で62校あり、山添村と同じく、今この設計段階に入っている。予算として1億8600万円が計上されており、62校で割ると1校当たり、300万円。大和郡山市も同じ状況にあり、5つの中学校で、1600万円。1校当たりと320万円になる。山添村のような中山間とは、地域差、気温差、体育館の建てられた年度も違う。そういった要因はあると思うが、山添中学校の空調設備の設計委託料は倍以上であり、私はこれを再考する余地があると考える。中学生、そして今後は、義務教育学校で学ぶ生徒たちが安全に夏を過ごせるようにすることは必要なことである。しかし、村の予算を節約して、いかに安価で信頼できるものを調達していくか、村政にもう少し努力を重ねていただく必要があるのではないかと。再考、訂正を強く求めて、反対する。

【 予算 】

▼令和7年度山添村一般会計予算について(賛成多数で可決)

▼令和7年度山添村国民健康保険特別会計予算について(賛成多数で可決)

▼令和7年度山添村後期高齢者医療特別会計予算について(賛成多数で可決)

▼令和7年度山添村介護保険特別会計

計予算について(賛成多数で可決)
▼令和7年度山添村大和高原北部地区基幹水利施設管理特別会計予算について(全会一致で可決)

▼令和7年度山添村簡易水道事業会計予算について(全会一致で可決)

▼令和7年度山添村下水道事業会計予算について(全会一致で可決)

※前記予算7議案については、一括して審議。3頁参照。

〈反対討論〉 奥谷和夫 議員

一般会計について、村長の所信表明で山添分校の閉校とそれに向け、令和8年度からの入学募集停止を表明された。これは、分校存続の署名に託された多くの村民、関係者の願いを踏みにじるものであり納得できない。審議方法や決定の仕方についても問題があると考える。議会での十分な審議も経ず、議員の多数が反対しているにもかかわらず、入学募集停止にするなど進め方があまりにも無謀ではないか。また、山添分校の本校化については、財政力や体力がないと言いつつ、義務教育学校の建設を急ぎ、そこに多額の費用をかけようとしている。令和6年度で小学生86人、中学生61人がおり、統合もやむをえないという状況でなく、今すぐ義務教育学校の建設が必要な状況ではない。村民の理解も十分ではない。十分期間を置いて検討すべきではないか。それに比べ

ればわずかな金額で出来る山添分校の本校化こそ急ぐべきではないか。次に、フォレストパーク神野山の映山紅の運営に関して、再公募を行うことは否定しないが、それまでの間、従来の延長線上の運営ができないものか。公募で応募がなかった場合を想定していなかったのではないか。映山紅は、村の観光にとっての戦略的拠点である。それを無人休憩所にしておくのは、本村の観光戦略にとっても大打撃となるものである。働いておられる方々の意見や想いを聞いてすすめるべきではないではないか。以上の点から、一般会計予算について、反対する。

次に、国民健康保険特別会計について、国保の都道府県化の弊害は明らかである。物価高騰で村民の暮らしが大変になっている中で、国保の引き下げが求められている。国保基金を積極的に活用し引き下げを求め、全国では、都道府県化のもとでも、大阪府と奈良県以外は完全統一を行っている。全国の大多数の都道府県では、各自治体の医療水準を考慮して、自治体の国保税算定の際に、医療費反映係数を設定し、国保税額を配慮している。奈良県でもこうした医療水準の違いを考慮した国保税の算定について、村として県に要求していくことを求める。以上の点から国民健康保険特別会計について反対する。

次に、後期高齢者医療特別会計について、令和4年から対象者の20%にあたる人が2割負担となった。また、保険料について2年に一度引き上げられ、大幅に引き上げが続いている。本村は、後期高齢者にかかる医療費が奈良県下でも低いにもかかわらず、県下全体で保険料が統一されているため、過大な住民負担となっている。制度導入当初の激変緩和措置もなくなつてしまい、村民負担が年々増えている。また、マイナ

保険証について、多くの個人情報とつながっているため、管理リスクが高くないところが多いと言われている。紛失の恐れから、利用登録解除が増えている。マイナ保険証への切り替えは全世代にとっても問題であるが、75歳以上の高齢者にとっては、死活的な大問題である。便利な従来の紙の保険証に戻すべきと考える。後期高齢者医療制度は即刻廃止し、元の老人保健制度に戻すべきと考え、後期高齢者医療特別会計に反対する。

次に、介護保険特別会計について、1か月の基準月額が高いという問題がある。同時に訪問介護施設が少なく、政府は給付を要介護3以上に限定をするというような方向に進んでいる。「保険あって介護なし」という方向に進んでいるのではない。介護給付費準備基金の積極的活用すること。一般会計からの繰

り入れも含め、村民の負担軽減をはかることを求めて、介護保険特別会計予算について反対する。

〈賛成討論〉 大谷敏治 議員

一般会計について、歳出面では、総務管理費において、老朽化した防災行政無線の更新費用約2億8千万円、土木費において村道改良事業および村単独の道路改良補修費、主要道路および末端の生活道路の整備、急傾斜地崩壊対策事業費、道路橋梁の老朽化に対する補修等を実施するための予算として、1億9千5百万2千円、消防費では1億3千6百万6千円で消防署と連携を図りながら消防団の活動を支援し、消防施設等の整備を行うための費用が計上してあり、更なる災害に強い村作りを期待する。次に、会計管理費ではレジスター購入費用が計上してある。キャッシュレス決済にも対応可能ということで、住民の利便性向上と職員の業務効率化に期待する。次に、来月には大阪関西万博が始まる。そこで大阪・関西万博市町村連携事業負担金が計上してある。これからの観光は地域連携が不可欠であるため、イベント等を通じて、地域振興に欠かせない人と人の繋がりの構築に期待する。また、新設の神山施設管理運営費では、環境美化業務委託料、施設修繕材料費などが計上してあり、今後の新しい展開に

期待をする。生活環境費では、地球温暖化対策実行計画策定のための費用、また、農業振興費では、農村風景や環境保全の継続を目指す費用が計上してあり、労力の軽減や作業継続意欲の維持に繋がることを期待する。次に教育費において、校務支援システム改修運営に関わる経費、通学バス運行に関わる経費、義務教育学校推進費を新設し、中学校仮移転に伴う改修工事費などが計上されている。山添分校については、村長の所信表明で閉校の経緯を説明され、今後は法人的な枠組みの中で新しい学校法人やその他、学びの機会ができないかを模索していくと少し期待できる発言もあった。反対の声、わからないという声を置き去りにしないよう、丁寧な対応が必要ではないか。

次に、国民健康保険特別会計について、診療施設勘定でストレッシャーおよび心電図などの備品購入に関わる費用が計上されている。今後段階的に拠点診療所1ヶ所に集約する方向が示されているが、村民が安心して医療を受けられる体制作りを患者の意見を反映し、焦らず着実に進めていただくことを要望する。

公営企業会計では、簡易水道事業会計において、水道施設維持管理を段階的に村に移行するための必要経費の他、切幡並びに菅生地域の水道管路の布設替工事に関わる費用が計上されている。水需要の減少に伴う

給水収益の減少や、昨今の物価高騰など、より厳しい経営環境が見込まれる中、収入の確保と支出の削減を図り、持続可能な事業経営に向けて取り組み、安全安心な水の供給を維持するため、計画的に工事と点検を実施し、適正な維持管理に努めていただくようお願いする。以上、各案件に対し原案の通り賛成する。

〈反対討論〉 野村信介 議員

一般会計について、分校存続のための予算、映山紅をはじめとする神山観光に関係する予算、毛原廃寺跡の発掘調査に関わる予算などがカットされている。村長は山添分校の閉校と、令和8年度からの入学募集停止を表明したが、分校は山添村の礎を築いた先人たちの学び舎として長い歴史があるだけでなく、多様な教育を要する生徒たちに寄り添い、社会適応をつけていく貴重な教育の場として機能している。村内から進学する子供たちが少なくても、定住自立圏を形成している伊賀市、名張市から通学する子供たちは多く、最近では天理市から通学する子供もいる。学びの多様性が求められている。この学校の存在はとてつもなく貴重である。特に伊賀市や名張市においてはいじめを受けて、不登校に陥った生徒が少人数制で学ぶ学校はない。分校は、既にその必要性を自覚し、進化してきたのだと、私は感

覚し、進化してきたのだと、私は感

じている。そういった意味で分校は必要である。その芽を摘み取るような予算は理解できない。さらに村長は将来、分校は経済的に村民の生活を圧迫する存在になると言ったが、今まで具体的な根拠になる数値、将来の試算を示したことは一度もない。言葉で村民の不安を煽り、自身の無謀な決定への賛同を募っているのではないか。村民の代表である議会に十分な審議もさせず、議会の多数が反対しているにも関わらず、募集定員をゼロにするという決め方があまりにもずさんである。3千人を超える分校存続の署名を村長に届けた数時間後、教育委員の4名の方々に村としての主張をされたこと、それは村長としてするべき行動か。今となっては、令和8年度の入学試験の復活を目指して活動していくしかないが、分校のダメージを最小限にとどめるよう努めるとともに、教育委員会あるいは関係する方々、そして村長には、令和7年度の入学試験を受けた新しい入学生となる生徒たちが4年間、心苦しい気持ちになることなく、堂々と育つような環境を整えていっていただきたい。

次に、義務教育学校の改築工事に關して、工事にどれくらい費用が必要なのかということが全く議論されていない。一般会計にはそれが組み込まれていない。この議論をするのではなく審議をやっていけるのか。義務教育学校の建設は、今の中学校舎の改築、中学生が1年間小学校に移動するための改築も関係するわけだが、現在の中学校舎の改築にいくらか費用をかけるべきなのか。山添村として身の丈に合った費用はどれぐらいなのかという議論は先送りされている。近い将来、補正予算を計上して、建設費用が提示されると思うが、一般会計予算に組み込まずして、全体像をはっきりさせぬまま簡単に認めることは、税金の無駄遣いを監視する役を担う議員としてできない。一方で、一旦予算書に数字が提示されてしまうと、逆に踏み込んだ議論が難しくなるという状況に陥る。5億円以上費やしたことも園の建設には、今も我々議員のチェック能力に反省を求める声が大きい。教育は最優先課題であり、学校を作るなど言っているわけではない。子供は村の宝である。今からでも議会に特別委員会を設けて、山添村にとってふさわしい出費はどれぐらいなのかということをもとめる義務があるのではないかと。それを提案し反対する。

【 規約 】

▼天理市、山添村、川西町、三宅町及び田原本町一般廃棄物の処理事務委託に関する規約の一部改正について（全会一致で可決）

新しいごみ処理施設へのごみ搬入

検査及びごみ処理手数料の徴収に関する事務などを引き続き天理市に委託するため、地方自治法の規定により本規約を変更しました。

【 指定管理者 】

▼公の施設の指定管理者の指定について（全会一致で可決）

《公の施設》

所在 山添村大字伏拝地内
名称 神野山ふれあいの森関連施設
(羊毛館、めえめえ牧場、ひつじの学校)

《指定管理者》

所在 岡山県津山市下高倉西
231115

団体名 オサカ産業株式会社
代表取締役 小坂 明
期間 令和7年4月1日から
令和12年3月31日まで

▼公の施設の指定管理者の指定について（全会一致で可決）

《公の施設》

所在 山添村大字伏拝地内
名称 神野山ふれあいの森関連施設
(ログハウス、木工館、屋外調理施設、林間広場、炭焼窯、学習展示林及び野鳥の森、休憩所使所等)

《指定管理者》

所在 山添村大字野47912
団体名 一般社団法人
Hello moon
代表理事 鈴木千仁

期間 令和7年4月1日から
令和12年3月31日まで

【 人事 】

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（全会一致で同意）

・辻本 壽香 氏（賛輪）

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（全会一致で同意）

・今本 俊二 氏（広瀬）

【 決議 】

▼山添村立奈良良立山辺高等学校山添分校の本校化を求める決議について（賛成多数で可決）

山添村立奈良良立山辺高等学校山添分校は70年以上の歴史を持ち、本州唯一の村立高校として村の将来を担う若者を社会に送り出してきた。近年はいじめや不登校など困難をかかえた生徒を受け入れ、その成長を育んできた。村内外から生徒が通い、その存在は他に代えがたいものであり、村民の誇りともなっている。そのことは本校化と存続を願う3千人を超える多数の署名にも現れている。ところが村や村教育委員会は、令和8年度からの山添分校の入学募集を停止し、閉校に向けて手続きをすすめるようとしている。山添分校を必要としている多くの卒業生や生徒たちのために、山添村の将来のために、山添分校を本校化し存続することを強く求める。

〈反対討論〉 吉矢義彦 議員

進学先としての山添分校について、交通手段の発達にともない高校の進学先は奈良市や伊賀市、名張市など多様化してきている。そうした状況の中、現在山添分校への村内からの生徒は1名であり、進学先としての山添分校の要望は少ない。また、農業後継者育成という観点から山添分校について、近年の卒業生の中で、村内で農業をされている方はいないと思う。卒業後の進路で農業をされている方も無いように思う。新たに農業後継者育成として山添分校を存続しても、問題解決にはならない。以上の点から、山添分校の本校化について、要望もなく将来性もないと判断するため決議に反対する。

〈賛成討論〉 野村信介 議員

多様な学びを必要とする生徒たちに対応できる小規模校として、この学校は進化し、一つの完成された形を作りつつある。この学校を求める生徒は多くいる。数は少ないが、村民の中にもある。村外にはたくさんおられて、その数は不安定な現代社会の中で簡単に減ることは今後もないことであろう。そんな学校を村として継続する、こういった気概、風土、山添村のスピリッツが重要だと思う。農家の後継者に高等教育を促すという当初の設立目的はもう終え

たのかもしれない。時代の変遷とともに多様な教育を必要とする生徒が集まってくるようになった。結果的に今の時代が求めている教育を実践する教育の場に進化したわけである。これほど貴重な存在はないのである。村民としてこの学校の重要性を認識して、この学校を成長させるという姿勢を示すことが、村長の大事な役割ではないか。村民は能動的にこの分校を本校化し、新しい価値を生み出す教育施設にしていかなければならない。分校という財産を村の発展のためにより価値の高いものにしていくことが、村民の義務であると思う。村長にはさらに努力をしていただきたい。伊賀市、名張市、奈良市、天理市、そして奈良県、三重県とさらに話し合ったら、まだ道はあるのではないか。本校化を求める議員団を同行しているのとやってみないか。村長、議員、村民が分校存続のためにやるべきことはたくさんあると思う。以上の点から決議に賛成する。

一般質問と答弁の要旨

質問と答弁を要約して掲載しています。

【質問】 藤田和子 議員

▼村の資源を活かした農業振興について

1. 持続的な農林業を可能にするた

めには「稼ぐ」「稼げる」ことが最も重要である。作物を作るより買う方が安いのでは農地は荒れるばかりである。農家の収入を増やすことについてどのような計画があるのか。

2. 農産物の地産地消を進めることは、生産者にも消費者にも有益なことである。村内の様々な有機廃棄物を堆肥化することも資源の地産地消につながる。地域循環型経済の育成を図るものとして、こうした取組を進めることについて、村長の考えは。

【答 弁】 野村 村長

まず、農家の収入を増やすことについて特効薬はない。しかし、ご指摘のとおり村には食料確保には欠かさない農地資源がある。収入を得る基盤である農地の保全と、農作物を売る流れをつくるために、次の3つの施策に取組む。

第1は主要品目であるお茶や米、様々な野菜づくりの村民の主體的な取組に今後も支援を継続していく。

農地保全継続事業では、これまでの取組に加え、農地や農道水路の補修、草刈り作業の委託など、村民の困りごとに対し補助を行う。また、

国・県の施策ではある農村RMO事業には村内より複数の地域が手を挙げており、今後も国・県と連携して支援していく。

第2はオーガニック農業を広める

取組を継続する。今年度オーガニックの取組を農業者や山添分校、関係者の協力を得ながら進めてきた。今月末にはオーガニックビレッジ宣言もを行い、次年度以降もこの取組を継続し、収入を得るための栽培講座の実施や有機農産物の学校給食への活用、既存の花香房直売所をはじめ村内の拠点を活用したマルシェの開催、地域の野菜を集め販売する手法の再検討などを予定している。本村を囲む伊賀市や名張市、また天理市や宇陀市が既にオーガニックビレッジ宣言されており、その中心に所在する本村はその状況を活かさない手はなく、加盟する両方の定住自立圏でも連携した施策の検討を始めている。農産物の販路の確保など周辺自治体との連携により収入を得る仕組みづくりを行う。

第3は農地バンクを通じて来村する村外企業が持つ販路の連携にも活路を見出したい。温暖化などの環境の変化に伴い、大和高原に位置し冷涼な本村を旨とする企業や農業者からの問い合わせが増加している。耕作放棄地は農地バンクを通じ案内し、村内に定着いただき、その方々の販路と上手く連携できるよう努める。

一方、林業は山林所有者の山離れが増加している。村としては山の手入れをまずやる必要がある。今後は所有者に森林の管理に関する意思を尋ねる意向調査を実施する予定であ

り、管理する意向のある山は間伐や混交林整備事業など、村が中心になって計画的に手入れをしていく方針である。

次に農産物の地産地消など地域循環型経済の育成を図ることについて、村内の道路際の落葉や生ごみなどを活用し、有機廃棄物の堆肥化を行う取組を計画しており、オーガニックビレッジ宣言に盛り込む予定である。次年度は、落葉を活用した有機堆肥の作成を山添分校で取組み、めえめえ牧場の羊糞や畜産業者の牛糞を活用したオリジナル堆肥の製作実証を行う。村民が活用できる堆肥づくりに着手する。また、その堆肥を使用して作られた野菜を学校給食や地域の食堂などで活用できるように地域循環の流れをつくりたい。

【質問】 奥谷和夫 議員

▼本村の現状と今後のむらづくりの方向について

1. いま村は重大な岐路に立っていると考えるがその認識はあるか。
2. 後期高齢者医療、消防、国保など広域化の弊害が出ていると考えられているが認識はどうか。
3. 村の地域医療について以前と比べ後退していると感じるが認識はどうか。
4. 分校の本校化の遅れ、村の観光の拠点である神野山の運営など村の良さや誇りが失われつつあると

感じるが認識はどうか。

5. 全国の類似した自治体と協力して地方自治の充実に取り組むべきと考える。その点で「小さくても輝く自治体フォーラム」に参加してはと考えるがどうか。

【答 弁】 野村 村長

重大な岐路について、すでに何年も前から重大な岐路に立たされていたと思っている。その都度、行政・議員・村民が協力し合って、努力し対応されてきたとは思いますが、先延ばしにしてきた課題もあったと思う。10年前、20年前に予測されていた現状に対して、その時点で対策をきっちりとられていれば、山添村が抱えている課題は、もう少し削減されていた可能性はあると思う。3年半前、私はそのことに気づき、何とかしたいという思いでこの職に立候補した。

広域化の弊害について、まず消防について現在、山添村の近隣消防署は宇陀市、天理市となり、以前の月ヶ瀬村、都祁村に比べ距離的に遠くはなったが、山添村で火事があった場合、近隣の宇陀市、天理市、桜井市の各消防署からすぐに駆けつける協力体制を整えている。救急に関しては、山辺広域行政事務組合から奈良県広域消防組合へ規模が拡大されたことに伴い、組合全体としての救急車は増えている。しかし、救急出動の増加に伴い、救急車到着に時

間がかかる事案が発生しているのも事実である。今後は、奈良県広域消防組合内での業務の効率化、迅速化をさらに進め、山添村としては、隣接の奈良市と協力体制が取れないか検討していく。

次に医療制度について、平成20年4月から開始された後期高齢者医療制度、平成30年4月から広域化された国民健康保険制度について、保険料・国保税が以前よりも高くなったということはある。しかし、村単独で老人保健・国民健康保険の制度を維持することは財政面で難しく安定した運営を行うためには県単位の広域化が必要であった。また、国民健康保険の被保険者1人当たりに支払われる医療費については本村の医療費が県を上回ることもあるため、住民負担のみが増えたとは言いがたい。

地域医療の後退について、村の地域医療は、吉本清信先生のころから、住民健診の重要性を周知して、検査項目の充実を図ってきた。現在も特定健診の受診率は約50%を保っており、県内でも高い水準を維持している。また、後期高齢者医療保険の1人当たりの医療費は、県の平均より低く推移しており、予防や健診の効果が現れていると考える。住民健診については、検査項目の充実・周知啓発を行いながら継続実施し、がんの早期発見と早期治療、生活習慣病の発生予防に努めていく。

分校の本校化について、村の良さや誇りを観光資源や分校で評価されるのは、議員の個人的な指標であって、必ずしも村民の総意ではないと思う。また、村民に負担を強いてでも良さを誇りを追求することが本場に村の為になるのかも疑問である。山添村を含め日本は人口減少・少子高齢化が加速し、それによる後継者不足・荒廃地の増加等、様々な課題があり、買い物支援や見守り支援など様々な支援が必要となっている。私の一番の仕事は、「今後このような山添村で人々の暮らしの営みを続けること。村民が安心安全に暮らし続けることのできる体制づくりをすること。」だと考える。こういう意味からすれば、まだまだ、村の良さや誇りを構築できていない。今後、「人員・人材・財源」が大きく不足

することが予測される。そんな社会の本格的な到来に備え、我々は「今までの歴史や手法に固執するばかりではなく、今後の住民の暮らしを維持していくための事業の見直し」をしていかなければならないという考えで、行政の取組を進めている。その為に、村単独で対応するのではなく、企業や大学との連携、周辺市町村との連携、課題や規模の似通った自治体との連携等を進めている。また、「全国過疎問題研究会」等、本村の抱える課題とマッチした課題を有する研究大会や現地視察等に参加

し、多くの自治体と繋がっている。

次に「小さくても輝く自治体フォーラム」については、今まで参加はしていないが内容を精査し検討する。

また、今までは行政側から「〇〇の取組をします。」という形で議会や村民に紹介してきたが、今後は、議員や村民からのご意見や取組を紹介することも村の施策として考えていきたい。村の課題を解決するための案を待っており一緒にあって、考え行動に移していきたい。

【質問】 野村信介 議員

▼分校の本校化に関して、分校の設置条例について

村長は、本年度末までに分校を本校化するか廃校にするか「結論」を出すと公に数回宣言したが、2月20日現在も方針は明らかにされていない。分校が「山添村立学校設置条例」によって設置されている限り、同校の方針は村議会専権事項である。議会での議論が重要であるが、どのように結論を導くつもりであるか。

▼オーガニックスクールやオーガニックビレッジ宣言について

この一年間、分校でオーガニックスクールが営まれた。この導入を推進した村長に敬意を表する。この一年間の問題点、今月予定されているオーガニックビレッジ宣言との関連性、今後の予定は。

▼教育委員会の使命

県教育委員会発行の冊子「令和8年度奈良県立高等学校入学選抜の方向性」あるいは同名のホームページに、山添分校の紹介が詳しい見られない。毎年「奈良県立高等学校入学選抜概要」に山添分校も掲載されてきたが、掲載されなくなった経緯は。分校に関心を持つ中学生や保護者を不安にさせ、8年度以降も分校が存続する場合、受験者数を減らすことに繋がるのではないか。

【答 弁】 野村 村長

まず分校の本校化について、所信表明で「山添分校として令和8年度以降の入学者の募集は行わないと判断し、それゆえ、山添分校は、令和7年度の入学者が卒業する令和11年3月で閉校させていた」と述べた。私が出した結論によって直ちに閉校になるのではない。そのことを踏まえ今後、設置条例の改正を提案並びに審議いただくことになる。

次にオーガニックについて、この1年間本校化を目標に特色ある高等学校を目指しカリキュラムにオーガニックスクールに係る活動を組み入れ生徒達は一般参加者と共に学習してきた。これをきっかけに、教育委員会、農林建設課のバックアップ体制のもと、特色ある学校に発展してもらえるよう期待をしていた。ただ、学校関係者等から現在の分校を更に発展させ、新しい高校を作ると

いう気運が高まらず、目標に進んでいないという実感を持つことはできなかった。以前にも回答させていたが「魅力ある学校」すなわち「子ども達が行きたい学校、保護者が行かせたい学校、地域が支えてくれる学校」となれば、未永く存続できる高等学校になると考えていた。分校でのオーガニックの取組は生徒が在籍する限り続け、村としてもしっかりと支援していきたいと考えている。一方、オーガニックスクールを通じて学習に取り組んでいる生徒は一年前と比べ、行動に自主性や、次の展開を考えた感想を述べるなどの積極的な姿勢が増えてきた。

実習を取り入れたスクールの中で、堆肥の学習や畑の変化など、自ら経験し考えることで成長につながったことは嬉しく思っている。今月には、オーガニックを推進していることを全国に宣言し発信していく。本年度は、受講型から自ら参加型のオーガニック講座で学ぶとともに、これまでの堆肥の学びから「落ち葉堆肥」を試作し、オリジナル堆肥作りの実証にかかわってもらいたいと考えている。

【答 弁】 池住 教育長

次に教委員会の使命について、「令和8年度奈良県立高等学校入学選抜の概要」に掲載されなかったのは、概要の製作時点で分校の本校化または閉校の判断がまだであった

ため掲載することはできなかった。

【答 弁】 野村 村長

令和8年度の入学を希望されていた皆様方には大変申し訳なく思っている。今後学校法人化をはじめ、民間の力を活用しての学びの機関については、皆様とともに模索したい。

【質問】 大谷敏治 議員

▼文化財や伝統文化の支援について

1. 伝統文化の継承について
① わが村の周辺自治体には特色ある獅子舞がある。近隣市村の獅子舞との交流や関係者同士の問題意識の共有は継承の手がかりや励みになると考える。そこで、発表や交流する場所を設けてみてはどうか。

② わが村の伝統文化は、大小を問わず後継者の継承の危機が迫っている。今後、伝統文化を守り伝える後継者の育成や継承に向けて支援が必要であると考えるが、これらの危機に対してどのように取り組まれるのか。

2. 文化財の防火・防災について
近年さまざまなもの価格の高騰が続いており、防火・防災対策に二の足を踏んでいるのが現状である。そこで、山添村文化財保存事業費補助金交付要綱の補助対象及び補助額の見直しを検討する必要があると考えるがどうか。

3. スマートフォンの活用について

全国の博物館や美術館で、無料アプリ「ポケット学芸員」を導入している。導入することにより満足度の向上、説明のための人件費の削減、訪日外国人観光客の対応などに新しい形でわが村の文化財や伝統文化に親しんでもらえると考えるがどうか。

【答 弁】 池住 教育長
 まず伝統文化の継承について、文化協会の各団体また伝統文化子ども教室で継承活動を行っている。それぞれで実施していた発表会を合同でするなど工夫をしているが、次世代への継承に関しては非常に厳しい面がある。村としては、令和9年4月開校予定の義務教育学校設立を機会に総合科のふるさと学習の中で伝統芸能を継続して取り入れていければと考えている。また、現在各教室で指導している方々を講師に招き、実技だけでなく、その由来を教わり体験する学習をすることが郷土愛を育み継承に繋がると考えている。また、近隣市村や両定住自立圏との獅子舞等の伝統文化交流に関して、各団体とも協議しながら検討していきたい。

文化財の防火・防災について、当補助事業は文化財そのものに対して、所有者と村とお互い協力して保存と活用を図るため補助金を交付している。現在、補助制度を見直すことは考えていないが具体的に相談が

あれば検討する。
 スマートフォンについて、歴史民俗資料館などで活用可能だが詳しく研究し検討する。

【質 問】 三宅正行 議員
 ▼映山紅の今後について

映山紅の今後についてどのような考えか。映山紅を中心としたエリアは山添村の観光の拠点である。それを無人としてしまつては如何なものか。無人となつたら訪れる人も少なくなり、村の観光にとって痛手になる。5月は最も人が来る時期でもあり賑わうときである。これまでのように営業することを考えて見てはどうか。

【答 弁】 野村 村長
 映山紅は神野山観光協会に運営を委託しているが、本年4月1日から民間の活力を導入し、更なる活性化を図ることを目的に神野山ふれあいの施設全体を3つのエリアに分けて、指定管理者の募集を行った。結果、めえめえ牧場エリアとバーベキュー場を含めた公園エリアについては応募があったが、映山紅を含む森林科学館と生産物直売所については応募がなかった。令和7年度については、森林科学館は貸館として、生産物直売所はチャレンジショップとして、映山紅は休憩所として村が直接運営していく。水、木曜日以外は開館し最低1名は常駐しており、

無人となることはない。ただ、これまでのように食事の提供や野菜等の販売については行わないが、レンタルキッチンとして貸し出すことを考えている。少なからずとも神野山に訪れていただいた方へのおもてなしに影響があると思われるが、レンタルキッチンとしてどなたでも利用できるよう整備していく。村としては、再度公募に向け準備を行っているところであり、それまでの間は村直営となるが民間活力の導入に向けて鋭意進めていきたい。

議会のあゆみ

月	日	内容
1月	21日	全員協議会
2月	17日	全員協議会
2月	26日	正副議長並びに各委員長会議
3月	4日	議会全員協議会 第1回議会定例会開会
3月	6日	文教厚生委員会
3月	7日	文教厚生委員会
3月	10日	総務委員会
3月	18日	議会全員協議会 第1回議会定例会再開

補正予算の内容 (単位：千円)

○令和6年度一般会計補正予算 (第8号)

補正前の額	補正額	計
3,670,469	62,448	3,732,917

防災重点ため池の防災対策計画策定業務委託料、道路補修工事費、山添中学校体育館空調設備設計委託料等

○令和6年度国民健康保険特別会計補正予算 (第4号) 【診療施設勘定】

補正前の額	補正額	計
159,786	4,400	164,186

職員退職手当負担金

○令和6年度介護保険特別会計補正予算 (第3号)

補正前の額	補正額	計
638,682	21,300	659,982

居宅介護サービス給付費、介護予防サービス給付費等

○令和6年度下水道事業会計補正予算 (第2号) 【収益的収入及び支出】

	補正前の額	補正額	計
収入	37,494	100	37,594
支出	39,848	100	39,948

過年度消費税及び地方消費税

伊賀城和
定住自立圏
— IGAJOWA —

伊賀城和（伊賀・山城南・東大和） 定住自立圏ニュース

☎ 伊賀市子ども政策課 ☎ 0595-22-9677

TOPICS

病児保育室をご利用ください



病氣中または病気の回復期にある児童・園児を、保護者が家庭で保育できないときに、一時的にお預かりする「ゆめこどもクリニック伊賀病児保育室」を設置しています。

【開室日時】

○月～水曜日、金曜日：午前9時～午後6時

○土曜日：午前9時～午後5時

※木・日曜日、祝日、8月13日～16日、12月29日～1月3日、その他小児科の休診日は利用できません。

【ところ】 ゆめこどもクリニック伊賀

【対象者】 伊賀市在住・在勤または伊賀城和定住自立圏域（笠置町、南山城村、山添村に限る。）に居住する人のこども（小学校、幼稚園・保育所（園）に通う生後6カ月以上の園児など）

【利用できる病気の範囲】

○風邪・感染性胃腸炎などの日常的にかかる病気

○インフルエンザ、水ぼうそう、おたふく風邪などの感染症（新型コロナウイルス感染症や濃厚接触者は利用できません。）

○気管支ぜんそくなどの慢性疾患

○その他、医師が利用可能と判断した病気

【利用料金（1日）】

①市町村民税所得割課税世帯：1,000円

②市町村民税課税世帯

（①に該当する世帯を除く。）：500円



③市町村民税非課税世帯または生活保護世帯：無料
※伊賀城和定住自立圏域在住者の利用料金は伊賀市在住者と同じ

④伊賀市外在住者：1,000円

【定員】 4人/日

【利用方法】

①当日、電話で空き状況を確認する。

（受付：午前8時～）

②ゆめこどもクリニックで診察を受ける。

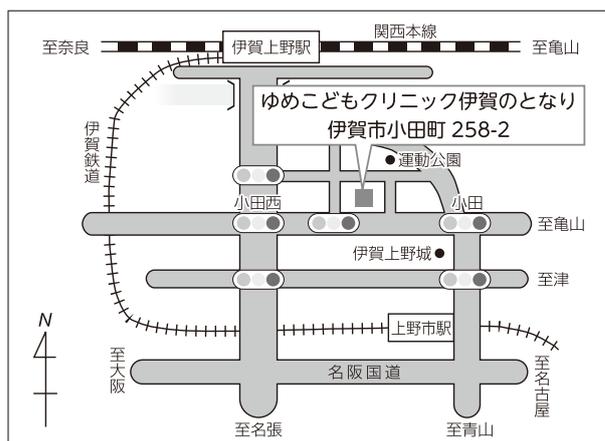
（受付：午前8時45分～）

③申請書・保護者連絡票を提出する。

※申請書などは病児保育室にあるほか、市ホームページからダウンロードできます。

【予約先】 ゆめこどもクリニック伊賀 病児保育室

（伊賀市小田町258-2）☎ 0595-24-7605

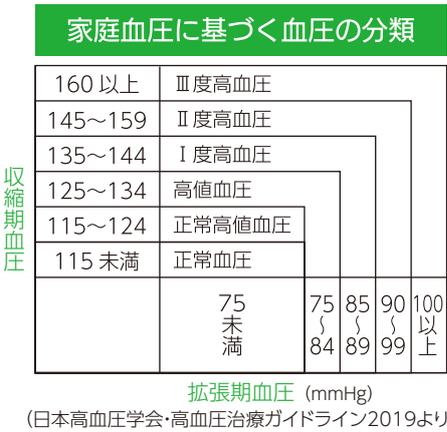


今月の情報

詳しくは、各問い合わせ先にご確認ください。

総務課 85-0041 行政相談、人権相談、情報公開、消費生活相談、議会、選挙、広報、統計、消防、防災、防犯、交通安全などに関すること	総合政策課 85-0040 総合計画、地方創生、定住自立圏構想、業務改革及びデジタル化推進、企業版ふるさと納税、重要施策の総合調整、村長の特命事項などに関すること	税務会計課 85-0043 出納、会計、村税、介護保険料、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料などに関すること	住民福祉課 85-0045 戸籍、印鑑登録、住民票、諸証明、国民年金、児童手当、国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療、介護保険、社会福祉、保健、予防などに関すること
環境衛生課 85-0047 簡易水道、下水道、公害、環境美化、畜犬、エネルギーなどに関すること	地域振興課 85-0048 商工業、観光、移住定住、地域づくり、ふるさと納税などに関すること	農林建設課 85-0046 農業委員会、農地・農業相談、農林水産、地籍調査、道路、河川、災害復旧などに関すること	教育委員会事務局 85-0049 学校教育、社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、公民館などに関すること
山辺環境衛生組合 山辺衛生センター 85-0253	浄化槽維持管理、し尿汲取り	役場の直通番号ご案内 市外局番 ☎0743	

住民福祉課



健康・福祉

高血圧に注意しましょう

5月17日は「高血圧の日」です。高血圧は、自覚症状がほとんどありません。しかし放置すると、脳や心臓の血管が動脈硬化を起こし、腎臓のはたらきが悪くなることもある決して侮れない病気です。まずは自宅で血圧を測り、血圧の分類表で数値を確認してみましょう。「Ⅰ度高血圧」以上が続く場合は、生活習慣の改善とともに、医師への相談が重要です。小児期から減塩を意識し、過食を避け、適切な運動習慣をもつなど家族ぐるみで高血圧を防ぐことも大切です。また、禁煙や適正飲酒を心がけましょう。

5月31日は世界禁煙デー

5月31日～6月6日は禁煙週間で、山添村の喫煙率は奈良県の喫煙率に比べて高い傾向にあります。喫煙は、がんをはじめとしたさまざまな病気になるリスクを高めます。また、たばこの煙には多くの有害物質が含まれており、たばこを吸っている本人だけでなく、周囲の方の健康にも影響を及ぼします。加熱式タバコでは煙は見えませんが、可視化すると受動喫煙が生じていることがわかります。妊婦や乳幼児の受動喫煙は、胎児や乳幼児の健康に悪い影響を与えます。親が喫煙者であるとその子どもはたばこの煙に慣れ将来喫煙者になる可能性も高くなります。ご自身のために、周囲の方のために思い切って禁煙してみませんか。

まずは、お近くの禁煙支援医療機関にご相談ください。



5月31日 世界禁煙デー

山添村の喫煙率は奈良県の喫煙率に比べて高い傾向にあります。喫煙は、がんをはじめとしたさまざまな病気になるリスクを高めます。また、たばこの煙には多くの有害物質が含まれており、たばこを吸っている本人だけでなく、周囲の方の健康にも影響を及ぼします。加熱式タバコでは煙は見えませんが、可視化すると受動喫煙が生じていることがわかります。妊婦や乳幼児の受動喫煙は、胎児や乳幼児の健康に悪い影響を与えます。親が喫煙者であるとその子どもはたばこの煙に慣れ将来喫煙者になる可能性も高くなります。ご自身のために、周囲の方のために思い切って禁煙してみませんか。

まずは、お近くの禁煙支援医療機関にご相談ください。

ならコープ 夕食宅配

山添村全域が配達可能となりました！

健康を気づかう方、毎日の食事づくりが大変な方におすすめ！
管理栄養士が監修「家庭の味」にこだわってさまざまな料理をお届け。飽きない日替わりのおかず・お弁当コースです。

お申し込み・お問い合わせは

☎0120-577-039

携帯電話・IP電話からは **0743-68-3100**

夕食宅配についてのお問い合わせやご注文は、音声ガイダンスにしたがってプッシュボタンを押してください。

人気No.1
管理栄養士が考えた毎日変わる献立
6種類のおかずをお届け
おかずコース

4日間(月～金) **2,440円**
お昼前 2,635円

5日間(月～金) **3,050円**
お昼前 3,294円

お好みで選べる **全6つのコース**

料金、コース詳細やお届け方法などくわしくは、ならコープ夕食宅配のホームページをご確認ください。

ならコープ夕食宅配 検索

お問い合わせ先

役場の直通番号ご案内 市外局番 ☎0743

税・保険

健康・福祉

子育て・教育

環境・エコ

募集・相談

イベント・催し

その他

収集日	大字名
6月1日	室津・松尾・的野・峰寺 桐山・北野・三ヶ谷・勝原 岩屋・毛原・切幡・伏拝 助命・箕輪・大塩・堂前
6月8日	春日・大西・菅生・上津 下津・遅瀬・中峰山・広代 中之庄・吉田・広瀬・鶴山 片平・葛尾

問 環境衛生課

6月のリサイクル物品回収日

環境・エコ

問 教育委員会事務局

▼受付期間 令和7年6月30日(月)まで

▼助成額 10,000円

▼対象者 村内に住所を有する保護者

小学校、中学校、高等学校等へ入学された児童・生徒の保護者の方に対して、入学支援の助成を行います。

入学支援助成金について

子育て・教育

奈良県民スポーツ大会出場者募集

奈良県民スポーツ大会の出場者を募集します。出場を希望される方は下記までお申し込みください。
なお、申込み締め切りは、5月16日(金)までとします。

▶日程 令和7年7月6日(日)・13日(日) ※一部種目は、他日開催

▶種目 【個人・団体】陸上競技、水泳
【個人】ウェイトリフティング
【団体】弓道(4) 相撲(5) 柔道(4)
軟式野球(15) ソフトボール(15) バスケットボール(15)
ハンドボール(16) サッカー(11) ソフトテニス(11)
バレーボール(9) クレー射撃(3) 卓球(15)
バドミントン(13) 剣道(10) テニス(11)
空手道(4) 少林寺拳法(11) ボウリング(7)
ゲートボール(8) グラウンド・ゴルフ(6) ペタンク・ボール(2)
※団体の()内の数字は、参加の際に必要な人数の目安です。

▶参加年齢 成年(18歳以上)※一部種目は、中学生以上

▶参加費 無料

▶参加資格 参加申込時に当村に住民票を有し、且つ居住している方及び在勤・在学している方



問 山添村スポーツ協会事務局 (山添村教育委員会事務局内) ☎85-0049

広告

野村医院 5月予定

★5月10日(土)14:00~16:00★
健康と運動イベント & 猫背&骨密度測定
ふれあいホールにて 参加費500円
事前申し込み必要 (〆切 5月7日まで)

●午前診は9時~正午。 夕診17~19時。
●往診は随時受け付け。
●診察の予約は、お電話やメールでどうぞ。
*印は夕診もある日を示す(右表)
☎85-0439 FAX85-0438

月	火	水	木	金	土
			5/1	2*	③
⑤	⑥	7	8	9*	10
12	13*	14	15	16*	17
19	20*	21	22	23*	24
26	27*	28	29	30*	31

募集・相談

奈良県広域消防組合 採用募集案内【前期】

令和8年4月1日採用予定の消防職員を募集します。

詳しくはホームページをご確認ください。

奈良県広域消防組合

☎ 0744-20-11119



イベント・催し

「労働相談会」を開催します

労働委員会委員が相談員となり、解雇や賃金問題、パワハラなどの労働に関する相談をお受けします。

▼開催日

年間スケジュールはホームページをご確認ください。

▼開催時間

午後3時～5時

▼場所

奈良県奈良総合庁舎2階
(奈良市法蓮町757)

▼費用

無料

▼申込

事前予約制

(開催日前夕日の午後2時まで)

詳しくはホームページをご確認ください。



奈良県労働委員会事務局

☎ 0742-20-4431 (直通)

その他

寄附金の収納事務の 委託を解除しました

ふるさと応援寄附金の収納事務を次の者に委託していましたが、寄附金募集サイトの利用終了に伴い、山添村会計規則第20条第2項の規定に基づき委託を解除したことを公表します。

▼委託事務名

ふるさと応援寄附金の収納

(インターネットによる公金支払いの方法により納付されるものに限る。)

▼名称 (所在地)

株式会社DGフィナンシャルテク

ノロジ

(東京都渋谷区恵比寿南3-5-17

DGビル10階)

◎ 地域振興課

人事異動について

本人の申出により退職を撤回

松浦奈美 (地域振興課)

◎ 総務課



春の交通安全県民運動にご協力ありがとうございました



OA 機器の総合商社

オフィスのことなら!

奈良OAシステム株式会社

コピー、FAX、プリンター

防犯カメラ、各種システム、印刷・製本など

本社

〒635-0001 奈良県大和郡高市町大字松原755番地1
TEL 0745-23-7000 / FAX 0745-23-7300

奈良支店

〒690-8141 奈良県奈良市南宮原町3丁目1528-6 奈良OAビル3F
TEL 0742-50-1801 / FAX 0742-50-1804

三宮西側支店

〒518-0627 三重県名張市林檎が丘7番町3街区41番
TEL 0595-44-6666 / FAX 0595-44-6667

広報やまぞえに広告を掲載しませんか

有料広告掲載欄に広告を掲載する広告主を、毎号募集しています。店や会社のPR、催しごとの案内などにお気軽にご活用ください。

◎ 総務課



税・保険

健康・福祉

子育て・教育

環境・エコ

募集・相談

イベント・催し

その他

広告

～「ふくまるコッコー！」～

福参り

【場所】 山添村大字鵜山うま

【年代】 不明

【説明】 毎年12月31日大晦日夕方6時に点火します。新年を迎える行事の一つとして藁を2、3把と数本の竹を持ち寄り組み立てます。各家から餅を2、3枚と葉つきミカンを串刺しにして近くに供えます。一年間の無事を感謝し、次年も良い年であるよう祈ります。火をつけると竹が燃え小さな竹は「パンパン」と大きなものは爆発音が大字内にこだまします。その時大きな声で「ふくまる(福参る)コッコー」と叫びます。火の後始末をしてお供え餅を持ち帰ってかまどや炊事場に置きます。

他にも福丸呼び(上津、下津)、福丸迎え(中之庄、広瀬、福参りコッコ(片平))など、同様の行事が山添村の各地にあります。



福丸さん

～地元100年 悲願の架橋～

架橋記念碑

【場所】 山添村大字広瀬ひろせ

【年代】 昭和4年前後

【説明】 現在の広瀬橋付近は「広瀬の渡し」がありました。広瀬の集落が無かった時代は、旅の安全を祈願する祠(西方寺の前身)が対岸にあったといわれています。小字名の「大門」「念仏堂山」などの地名は時代背景を想像させる名残があります。近くには地藏山という室町時代の経塚もあります。

昔は隣村へ行く手段が川沿いを歩くしかありませんでした。以前は雨が降ったら、板をめくりあげる板橋(広瀬の板橋)がありました。対岸には耕作地があり、そこに残る小屋はいざという時に宿泊する場所でした。大雨の時は自宅に帰れないことや危険な板めくりの作業がありました。

広瀬区民にとって、安全な橋梁の建設が悲願でした。広瀬区民の借入金と寄付により、当時の3万円(現在の3億円程)で昭和4年に架橋したのが吊り橋でした。全長89m、幅3m、高さ12m。完成後は名張市から遠足に来るぐらい珍しかったようです。この借入金返済するために広瀬俵約組合が結成されました。

昭和の終わりごろにはワイヤーの一部が切れ、重量制限のある橋となりました。その後、コンクリートの橋にする際に、村道から県道に昇格し、現在の形になってきました。先輩諸氏の労苦を今にとどめるのがこの架橋記念碑です。鎖のある石は、めくった板をつなぎ留めていたものです。



架橋記念碑

村内 イベントカレンダー

5 月

村主催の催しなどを1カ月分のカレンダーにまとめました。

皆さんの予定なども書きこんでいただき、自分だけのカレンダーとしてご活用ください。

[4/28 ~ 6/8]

月	火	水	木	金	土	日
4/28	4/29 ※昭和の日	4/30	1	2	3 ※憲法記念日	4 ※みどりの日
5 ※こどもの日	6 ※振替休日	7 ㊟毛筆に親しもう (東山公)	8	9	10 ㊟和太鼓教室 (東山公)	11 ㊟ヨガ教室 (波多野公) ㊟絵画教室 (波多野公)
12 人権相談・ 行政相談 9:00~11:30	13	14	15	16	17	18 ㊟健康のための 運動 (波多野公) ㊟春の山野草の 寄せ植え (豊原公)
19	20	21 ㊟毛筆に親しもう (東山公)	22	23	24 ㊟和太鼓教室 (東山公)	25 ㊟本に親しもう (読書会) (東山公)
26	27 ㊟かぎ針編み教室 (東山公)	28	29 ㊟縫わずに簡単♪ 華やか和紙で 「ふくさ」を 作りましょう (東山公)	30	31 おのれしよ ㊟「己書」幸座 (波多野公)	6/1 リサイクル物品 回収日①
6/2 固定資産税 軽自動車税 納期限	6/3	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8 リサイクル物品 回収日②

カ
レ
ン
ダ
ー
の
見
方

- ◇ 緑色の欄は役場が休みの日です。
- ◇ ㊟は公民館事業の「生涯学習教室」を表しています。※名称が長い教室名は略称を使用。
- ◇ 「リサイクル物品回収日」の「①」「②」はグループが分かれていることを表しています。
環境衛生課発行の「家庭ごみの分け方・出し方」のポスターでご確認ください。
- ◇ イベントカレンダーは山添つながりアプリ「めえめえ」でもご覧いただけます。

お悔み 申し上げます

[3月届出]

中南 喜美子 様
(96歳 室津)
福谷 操 様
(99歳 北野)
山村 照枝 様
(93歳 岩屋)
井岡 正一 様
(78歳 切幡)

永年、山添村のためにご尽力いただき、ありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。
※ご遺族より、許可を得た方のみ、掲載しています。

村の人口

[令和7年3月末現在()は前月比]

人口：3,029人 (-12)
男性：1,462人 (-4)
女性：1,567人 (-8)
世帯数：1,305世帯(+1)

3月中の移動

出生：0人
死亡：5人
転入：6人
その他増：0人
転出：13人
その他減：0人



山添村に住所がある人の動きを表しています。

山添俳句教室「三月句会より」

「風薫る」

山本ヒロ子選

お隣の梅開きしかこの香り 中島ミツ子
子羊のお尻まんまる牧うらら 西岡たか代
正調のうぐひす頻り三輪の杜 松尾 忠子
つややかに陽を跳ね返し下萌ゆる 椋本 房江
長閑しや空で戻りし村のバス 尾上 正典
英霊に思ひを馳する彼岸かな たかんな
鎌一打一打に土の匂ひけり 田畑 茂代
帰りゆく子らを見送るおぼろ月 楓月
ランドセル春の日差しにピッカピカ 敏律
パンフレット手に行く花の吉野山 白梅
彼岸会や五臓にひびく僧の経 秋桜
チューリップ囲む笑顔のランドセル 有希
風光る独り立ちするキャンパスに 川 蟬
青空を映し鎮もる大代田 旭泉
故郷に笑顔集まる彼岸かな 依子
露の蔓摘めばこぼるる昨夜の雨 山本ヒロ子

■木々の香にむかいて歩む五月来る(秋櫻子)。「風薫る」の時節です。風は草花の甘い香りを運び、「茶摘み」から「製茶」へと、清新なお茶の香りが村を包みます。もみげて針の如くに玉露かな (水内鬼灯)

毎月11日は人権を確かめあう日
人権相談・行政相談を開設します

日程 5月12日(月)

時間 午前9時～11時30分

場所 役場 会議室1-4

総務課

電話による人権相談・
行政相談をご活用ください

◎人権相談

みんなの人権110番

☎0570-1003-110

◎行政相談

奈良地方法務局

◎行政相談

行政苦情110番

☎0570-1090-110

◎奈良行政監視行政相談センター



てんいち先生

入園・入学おめでとうございます



こども園 4/11



やまぞえ小学校 4/8



山添中学校 4/9



山添分校 4/9



あとがき

爽やかな風が吹きわたり、緑の美しい季節となりました。村内では田植えが始まります。

新年度がスタートして、1ヶ月が経ちましたが、少しずつ新しい環境には慣れましたか？

すくすく育つ青葉のように心穏やかに過ごせますように…



広報やまぞえは山添つながりアプリ「めえめえ」でもご覧いただけます。



android 版



ios 版

広報やまぞえ 5月号

No.703

(令和7年5月1日発行)

発行・編集 | 奈良県 山添村 総務課

TEL: 0743-85-0041 / FAX: 0743-85-0219

〒630-2344

奈良県山辺郡山添村大字大西 151 番地

公式 HP | <https://www.vill.yamazoe.nara.jp/>

(右のQRコードからもご覧いただけます。)

